



立科小諸線 布引の崩落現地調査



発行責任者: 山岸喜昭
〒384-0022 長野県小諸市南町3丁目9番地19 TEL0267-24-2310 FAX0267-24-2320
http://asama-kaze.com E-mail voice@asama-kaze.com



県内現地調査 小諸市みゆき生活舎

議会運営委員長に就任しました

議会運営委員長として、7月に埼玉・静岡両県を視察致しました。定例会の会期、質問・質疑の日数と人員、委員会の日程など基本的なことから、質問方法や割り当て時間、パネル使用の基準など両県の実情を視察。議会広報や広聴活動の、他県議会をより身近に感じられる取り組みについても、説明・質疑応答を重ねました。今後の議会運営や議会改革に参考になる多くの事項を得ることができました。



常任委員会は 県民文化健康福祉委員会に 所属いたしました

●委員会について

6月の定例会では①外国人の増加が予想される地域社会に円滑に受け入れられるための環境整備が急務となっています。これを進めるため「長野県多文化共生相談センター」(仮称)の設置事業について②信濃美術館整備に向けた寄付募集の取り組み③児童虐待やDVについて、引きこもりや不登校への対応・解決策等が議論されましたが、後者2件は市町村と連携し早急な対応が必要と考えられています。

- ◎自転車活用推進計画及び損害賠償保険への加入について
- ◎県立大と地域の関係、県立高校生の関心度
- ◎「長野県多文化共生相談センター」の多言語対応や自動車免許の取得について質問を行いました。

●県内現地調査(8月1日~2日)

8月1日は、上田保健福祉事務所・東信消費生活センター・上田地域振興局の概況説明の後、丸子中央病院を視察。丸子中央病院は進む高齢化の中で、医療と介護の連携が重要ととらえ、今までの介護療養病床を居住性も意識した「介護医療院」に転換しています。

その後、約70名の子育て中の女性を雇用し新しい働き方を作り出している「株はたらクリエイト」と千曲荘病院を視察しました。

翌2日は小諸市の「みゆき生活舎」を視察。社会福祉法人小諸学舎が運営するみゆき生活舎は、本年4月に御幸町に竣工。「共同生活援助」としての生活寮は県下初。「短期入所者用」と「相談支援スペース」さらに「地域交流カフェこひつじ」を併設しています。他、清泉女学院大学看護学部や飯山市の子ども館きららを視察。さらには、児童クラブ・児童センター・子育て支援センター・病後児保育など複数の機能を持つ複合施設です。



県内現地調査 飯山市子ども館きらら



丸子中央病院



清泉女学院大学 山内宏太郎学長と



R141、平原大橋 4車線化に向けて

平原大橋4車線化に向けて7本の橋脚が必要ですが、一部の橋脚下部の工事が始まっています。完成は令和7年頃の見込みです。

中部横断自動車道、環境影響評価方法書の説明会を開催

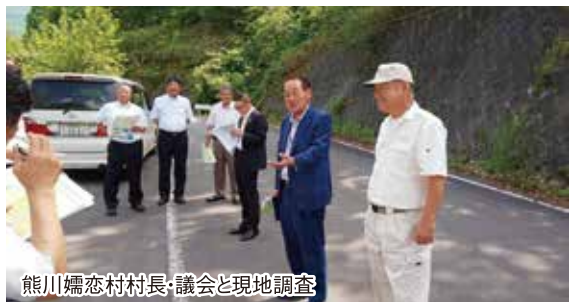
平成30年4月に八千穂高原IC(佐久南IC)が開通し、全線13.2kmのうち、約6割にあたる約77kmの区間が開通しています。県内においては8月21日~29日に小海・佐久・南牧・八千穂・川上・南北相木にて、環境アセスメントの方法書の説明会が開催されました。説明会の後、国・県からの意見が寄せられ、アセスメント(調査・予測・評価)が実施される段階になります。



八千穂高原IC

嬭恋小諸間 県道昇格促進期成同盟会 総会開催(7月30日)

昨年度の主な事業としては、6月に幹事会、7月に八ッ場ダム視察と総会、意見交換会、11月に長野・群馬両県へ県道昇格の要望が主な活動でした。周辺幹線道路の整備にともない、本線は観光・産業振興はもとより、地域交流や災害発生時の緊急輸送などに欠くことのできない道路として、その役割と重要性は増しています。本年度も県道昇格に向けて積極的な要望活動を行っていくことを確認しました。



熊川嬭恋村村長・議会と現地調査

◎令和元年度議会(抜粋)

委員会	委員長	副委員長
総務企画警察	小林 東一郎	酒井 茂
県民文化健康福祉	清水 純子	共田 武史
産業観光企業	依田 明善	中川 博司
農政林務	石和 大	小山 仁志
危機管理建設	丸山 栄一	高島 陽子
環境文教	中川 宏昌	丸山 大輔
議会運営	山岸 喜昭	続木 幹夫
決算特別	小池 久長	堀内 孝人